

岩漁港周辺グランドデザイン策定に係る関係者協議

岩地区地域水産業再生委員会 会議概要

日 時：平成 30 年 11 月 6 日（火）午前 10 時から 11 時

場 所：岩漁協会議室

出席者：委 員 岩漁協 7 名
有識者 1 名
神奈川県職員 1 名
町職員 4 名

○ 委員からの意見

- ・港の規模が小さいので、防波堤を延長するなどして、漁港施設の拡充が必要である。
- ・カヤックの出入りが多く危険なため、ルール作りが必要である。
- ・水上バイクの出入りは禁止している。
- ・防波堤での釣り堀はよいが、渡船業務、日常の施設整備や管理など人員不足もあり現状のままでは対応できないと思う。
- ・漁港も含め近隣に商店がない。J A跡地を利用するのはどうか。
- ・夏は海水浴場があるが、それ以外の季節には魅力がない。
- ・岩ガキは期待しているが、課題は多い。
- ・岩ガキ加工施設等の整備が進んでいるが、キャスの整備は必須と考えている。
- ・岩ガキやサザエなど獲れたての海産物をその場で食べられるバーベキュウなどが考えられるが、漁港にキャバがない
- ・人が来るようになればトイレが足りなくなる。
- ・漁港整備を進めるには、まずは沖防波堤の整備が必須である。
- ・防波堤が完成すれば岩ガキ養殖のイカダも設置できる。外海での事業は不安もある。
- ・台風対策として、駐車場のかさ上げが必要である。
- ・若手漁師を育成するため漁師用の住宅があるとよい。
- ・岩地区には漁師を住ませるアパートが少ない。
- ・そもそもイケスは外海には無理があるのではないか。
- ・新しい産業を起こさなければ町の活性化はないのではないか。
- ・新たな事業を起こすことはよいが、夜間の光は定置網に影響を及ぼす。
- ・今回の区域外ではあるが、旧道沿いに道の駅や飲食店を作るとうまくいくのではないか。